

○「地主を巻き込んで話し合いを」

(京都府宮津市 金山地域活動)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

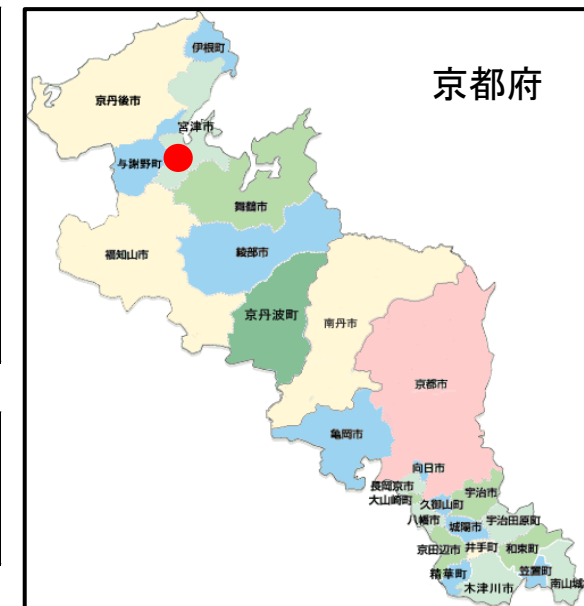
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月2日(月) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出席者: 金山農家組合8人、宮津市農林課2人
※委員1人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランと農地中間管理事業の制度説明を市が行う
- 他の地区から耕作者の確保が必要ではないか。その場合、ほ場条件の悪い農地の受け皿をどうするか
- 地主が非農家になると非協力的になる
- 共同化について、組織化は経験がなく意識がないので困難
- 話し合いを続けていく。特に地主を巻き込む。今年中に5～6回は実施したい。次回は8月中旬予定
- 項目を整理して話し合いを続けられれば、前に進む可能性がある
項目としては、例えば、多面的・中山間事業の継続、農地保全と農業継続、耕作者と非農家との組織化検討等

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援